

平成 21 年度 環境人材育成コンソーシアム準備会 事業計画

趣旨

環境人材育成コンソーシアム準備会においては、環境人材（新しい発想力、構想力、企画力に加えて、現在及び将来の社会が直面する課題への問題解決能力を有し、環境保全を通じて仕事を創出し、経済を活性化させることのできる人材）を育成するため、産学官民の連携により、以下の事業を実施していくとともに、コンソーシアムの組織のあり方について検討することとする。

1. 基盤的事業としての「出会い・交流の場」の提供事業

環境人材育成コンソーシアム準備会に参加する組織や参加者同士で、情報交流、連携促進等を目的とした、セミナーや意見交換会等を開催する。これは、コンソーシアムの場を通じた新たな出会いや交流の場として提供するもので、環境人材の育成という企図の下に、産学官民の交流がより深まることを目指す。

2. 環境人材育成に係るプログラム構築事業

幅広い大学生を主たる対象とした「環境力」を有するT字型人材を育成するためのプログラムの開発や、社会のリーダーや経営層、もしくは社会起業家を目指す大学院生及び社会人を対象としたアジア版のグリーン MBA/MOT 等のプログラムの開発を目指して、ワーキンググループを設置して研究調査及び検討を行う。

3. 環境人材育成に係る国際交流事業

環境人材育成にかかる国際的なネットワークである ProSPER.net（アジア環境大学院ネットワーク）等との連携を図り、国際交流事業実施の可能性を検討する。

4. 環境人材育成に係るインフラ構築、調査研究、情報発信及び普及啓発事業

環境人材育成に関する情報を共有・発信するプラットフォームの構築を目指して、情報プラットフォームのコンテンツを検討するとともに、環境人材育成プログラムの開発や運用を支援する有用な情報の収集を行う。

具体的な実施内容、実施手法については、今後、幹事会等での議論を行い決定していくこととする。

(別紙) 各事業の具体的な実施イメージ

1. 基盤的事業としての「出会い・交流の場」の提供事業

○情報交流、連携促進等を目的とした、セミナーや意見交換会の開催

セミナーや意見交換会を年5回程度（関東地域3回程度、関西地域2回程度）開催。取り上げるテーマとしては、環境人材育成にこれまで取り組んできている大学、企業、NGO等の先進的な取組の共有等を想定。例えば以下のような事項が想定される。

- ・ I R 3 S、現代G P等の大学における人材育成プログラム開発
- ・ 企業内における環境人材育成の取組について

○環境人材育成プログラム開発フォローアップ・全体会合の開催

環境省における「環境人材育成プログラム開発事業」、文部科学省における「科学技術振興調整費 戦略的環境リーダー育成拠点形成プログラム」の受託大学間の経験交流の場を年2回程度開催する。

2. 環境人材育成に係るプログラム構築事業

○『「環境力」を有するT字型人材育成プログラム構築事業』

大学、企業、行政、NGO、国際機関等から構成されるワーキンググループ（メンバー10名以内）を設置し、数ヶ月に1回、合計4回程度開催。ワーキンググループにおいて検討、実施する事業内容はワーキンググループによって決定されるが、例えば以下のような事項が想定される。

- ・ これまでの国内外におけるT字型人材育成プログラムの開発、実施状況のレビュー
- ・ 環境学関係の教科書、教材のレビュー、環境学の体系的教材の作成
- ・ 実践的教育手法（フィールドワーク、インターンシップ等）についての実施状況、課題、効果的実施手法の調査、検討

○『攻めの環境経営促進のためのグリーンMBA/MOT等構築事業』

大学、企業、行政、NGO、国際機関等から構成されるワーキンググループ（メンバー10名以内）を設置し、数ヶ月に1回、合計4回程度開催。ワーキンググループの検討、事業内容はワーキンググループによって決定することとするが、例えば以下のような事項が想定される。

- ・ これまでの国内外におけるグリーンMBA、MOT、環境経営プログラムの開発、実施状況のレビュー（会員の希望があれば、海外調査の実施も検討）
- ・ 環境経営関係の教科書、教材のレビュー
- ・ 環境経営、マネジメント関連の実践的教育手法（フィールドワーク、インターンシップ等）についての実施状況、課題、効果的実施手法の調査、検討

3. 環境人材育成に係る国際交流事業

○環境人材育成関連事業への協力

以下の環境人材育成関連の会合への参画等により、環境人材育成のための国際ネットワークを構築する。

- ・ オーストラリア大使館開催の「グリーン・スキル 高等教育機関における取組（仮称）：日時：5月25－26日 場所：オーストラリア大使館」
- ・ ProSPER.net 総会、幹事会、ビジネススクールシンポジウム（タイ：A I T 日時：6月2－5日）
- ・ TEEN（日中韓環境教育専門家ネットワーク会合）のワークショップ、シンポジウム（日時：平成20年秋の予定）
- ・ その他関連会合

○日中韓学生団体ネットワーク会合の開催

平成20年度の日中韓大臣会合における斉藤大臣の提案に基づき、日中韓の環境分野の学生団体間のネットワークを構築するため、会合を、平成21年秋頃（予定）に開催する。

4. 環境人材育成に係るインフラ構築、調査研究、情報発信及び普及啓発事業

○『環境人材育成情報インフラ構築事業』

大学、企業、行政、NGO、国際機関等から構成されるワーキンググループ（メンバー10名以内）を設置、数ヶ月に1回、合計4回程度開催。ワーキンググループの検討、事業内容はワーキンググループによって決定することとするが、例えば以下のような事項が想定される。

- ・ 環境人材育成情報インフラ構築に係る全体設計
- ・ インターンシップマッチングデータベースの構築
- ・ 環境人材育成カリキュラムデータベースの構築 等

5. その他、コンソーシアムの運営等に係る会合

○幹事会の開催

幹事会を年3回程度開催する。幹事会では、準備会での事業内容の決定のほか、環境人材育成コンソーシアムの組織のあり方、事業内容の検討、決定を行う。

○環境人材育成コンソーシアム立ち上げ準備、シンポジウムの開催

環境人材育成コンソーシアム立ち上げに向けた検討・準備を行うとともに、平成22年3月にシンポジウムを開催する。